

校長室だより第 22 号（令和 8 年 9 月 2 日）

4 5 日間の夏休みが終わり、学校に元気な子どもたちの声が帰ってきました。子どもの声が聞こえるっていいですね。心がわくわくします。

ほとんど欠席もなく、夏休み中の大きな事故の報告もなく、無事にスタートを切ることができてホッとしています。中には夏休みが終わってしまい「学校に行きたくないよ。」と思っている子もいることでしょう。徐々に慣れていけるように支援していきます。

SNS との付き合い方を考えなければ②

21 号では、SNS と『4 時間以上』つながる子が 20%以上いること。『30 分未満』の子に比べて 20 点前後、調査の得点が低いことをお伝えしました。

『4 時間以上』SNS とつながるためにはどこかの時間を削らなければなりません。

SNS とつながる時間が増えると、〇〇する時間が減る。

まるで、算数の関数の問題のようです。1 日は 24 時間なので、SNS とつながる時間が増えるほど、他の時間が減るのは当然のことです。削られるのはどんな活動なのでしょう。

- ① 睡眠時間・・・ベッドに入ってから、布団をかぶってスマホを見ている子もいるかもしれません。寝るときには、スマホを切り離したいものです。
- ② 読書時間・・・読書時間が減っているのはご存知の通り。最近は漫画さえも読まない子が増えたと聞きます。活字離れは寂しい限りです。
- ③ 友達と遊ぶ時間・・・放課後、元気に外で遊ぶ姿をあまり見かけなくなったかな。遊びは屋外だけとは限りません。家の中でゲームをしたり、おしゃべりしたり。いずれにしても、同年代とのコミュニケーションの場が減ってしまうのは残念なことです。
- ④ テレビを見る時間やゲームの時間・・・テレビやゲームも SNS も変わらないという意見があります。そうかもしれません。私自身は違うと思っています。テレビゲームはオープンな部屋（リビングなど）で行いますが、SNS は個室（自分の部屋）の場合が

多い気がします。こう言うと、「携帯ゲームなら個室でできます。」「自分の部屋にテレビがある子はどうなんですか。」と言われそうですが。

⑤ 家族との団欒の時間・・・お子さんが成長するにつれ、団欒の時間は減っていきます。

それは仕方がないことだと思います。だからこそ、小学生である今こそが家族の絆を深める上でも重要なのです。SNS は家族の大切な時間も奪っているのかもしれない。

そして、この時間は二度と戻ってこないのかもしれない。

SNS はとても便利なツールです。それは認めます。しかし、使い方を誤ると『学力』『健康』『友人関係』『親子関係・家族関係』を壊すことにもなりかねません。

今こそ、SNS との付き合い方を考え直さなければならない時です。